

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市市民防災センターの運営について

当施設は、防災体験を通じて、市民の皆様の防災に関する知識や技術の普及向上及び防災意識の高揚を目的として、平成7年9月に設置され、毎年10万人前後の方々に当施設を御利用いただいております。

センターの収入と支出

総額 1.5 億円

<支出>

利用者 1 人当たりの運営経費 1,510 円

運営委託費（人件費・イベント開催費等）
1,510 円

<収入>

1,510 円（100%）
市民の税金で負担（公費で負担）

〔 いずれも概数
10 円単位で四捨五入 〕

- 施設を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、運営に当たって利用者 1 人当たり 1,510 円のコストがかかっている施設を無料でご利用いただいております。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様に納めていただく税金）などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状態に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。